

## 【病院と当院のメリット・デメリット】

### ※大前提として、投薬・注射・手術はまず避けるべきです。

投薬は、三回まで → 三回以上～常用には必ず副作用（目に見えないだるさ、痛みなど）があるため。

注射は、三回まで → 三回以上～常用には必ず副作用（関節の破壊、靭帯のゆるみなど）があるため。

手術は、限界まで我慢 → 予後が悪い、二次的後遺症を引き起こしやすいため。

	病院		当院
メリット	画像診断が出来る  重症患者様の対応に長ける	メリット	副作用がない海外では見直されている最先端の代替療法（手技療法に長けている）が受けられる 臨床経験豊富な院長が必ず担当する、経過観察が出来る
デメリット	画像診断の結果と痛みの原因が直接関係ない事がある  手技療法はあまり行われ  ない  医師が診察をして治療はスタッフが行う場合、医師を介した経過観察が難しい  待ち時間かかりやすい	デメリット	一部保険適応が可能な場合があるため、整体・カイロプラクティック院よりは費用が抑えられる  痛みの軽減だけではなく、不老長寿のためにメンテナンスが出来る（内臓の活性化、老化や変形の防止）  予約優先性のため待ち時間が短く、一人ひとりの時間が確保できる（丁寧に診られる）  明瞭会計
		デメリット	重症患者様は、病院で精査しなければいけない  病院ほどの低額にはならない（厳しい使用制限があるため）